

口語英語研究 (3)

Christmas や New Year に関わる挨拶表現, 及び Nice to meet you.
や Nice meeting you. などの挨拶表現に関して

木戸 充 ・ *Stuart J. SANDERSON

日本獣医生命科学大学・英語学教室・*高宮学園・英語科

要約 本稿は口語英語で用いられる挨拶表現の使い方とニュアンスを検証するものである。本稿の前半では① Merry Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas./④ Have a good New Year./⑤ Have a nice New Year./⑥ Happy New Year. という6つの挨拶表現に関して論じ、本論の後半では⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you./⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. という7つの挨拶表現に関して論じている。なお、口語英語研究(1)や口語英語研究(2)と同様、本稿は英語を母語とする者と日本語を母語とする者の長時間にわたる討議を基にして書かれている¹⁾。

キーワード : Merry Christmas, Happy New Year, nice to meet

日獣生大研報 60, 105-118, 2011.

1. はじめに

本稿は現代の口語英語で用いられる挨拶表現について論じている。本稿の前半の主題は① Merry Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas./④ Have a good New Year./⑤ Have a nice New Year./⑥ Happy New Year. という6つの挨拶表現であり、本稿の後半の主題は⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you./⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. という7つの挨拶表現である。本稿の目的は①から⑬の使い方やニュアンスの違いを検証することである。

第2章「Christmas や New Year に関わる挨拶表現」では① Merry Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas. と④ Have a good New Year./⑤ Have a nice New Year./⑥ Happy New Year. について論じている。これらが用いられる日付、これらが発話される時の状況、これらに対する応答の仕方、これらが持つニュアンスには、それぞれどのような相関関係があるのだろうか。

第3章「Nice to meet you. や Nice meeting you. などの挨拶表現」では⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. と⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. について論じている。発話される状況や用

いられるときの話し手と相手の人間関係において、これらにはどのような相違があるのだろうか。また、これらで用いられている“to~”/“~ing”, nice/great/good, meet/see/talk にはそれぞれどのようなニュアンスが込められているのだろうか。

2. Christmas や New Year に関わる挨拶表現

この章の「(1) 年末から12月24日までの挨拶表現」と「(2) 12月25日の挨拶表現」では① Merry Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas. が用いられる状況について論じている。また、この章の「(3) 12月25日から12月31日までの挨拶表現」と「(4) 1月1日の挨拶表現」では④ Have a good New Year./⑤ Have a nice New Year./⑥ Happy New Year. が用いられる状況について論じている。さらに、この章の「(5) Christmas と New Year に関わる挨拶表現の性質」では① Merry Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas. と④ Have a good New Year./⑤ Have a nice New Year./⑥ Happy New Year. が持つそれぞれの性質についてまとめている。

(1) 年末から12月24日までの挨拶表現

Christmas (クリスマス) に関わる挨拶表現に① Merry Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas. がある。年末から Christmas Eve (クリスマスイブ) の12月24日までの期間において、この3

つの挨拶表現はどのように使い分けられているのだろうか。

年末から Christmas Eve (クリスマスイブ) の 12 月 24 日までの期間で、人と会ったときに使われるのか、人と別れるときに使われるのか、という点から ① Merry Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas. を比べると次の [ref. 1] になる。[ref. 1] において「会ったとき」は人と会ったときの挨拶として使われること、「別れるとき」は人と別れるときの挨拶として使われることを示している。また、○はそれぞれに当てはまること、—はそれぞれに当てはまらないことを示している。

[ref. 1] Christmas に関わる挨拶表現 (1) [年末から 12 月 24 日まで]		
状況	会ったとき	別れるとき
① Merry Christmas and Happy New Year.	—	○
② Happy holidays.	—	○
③ Merry Christmas.	—	○

年末から 12 月 24 日までは ① Merry Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas. が人と「別れるとき」に使われる。この期間にこの 3 つの挨拶表現が人と「会ったとき」に使われることはない。

<p>[ex. 1] 12 月 23 日の会話。Toby と Vince は同じ職場の同僚。Vince が仕事を終えて帰宅しようとしている。</p> <p>Toby : (1) “Are you off now, Vince?” 「もう帰るの、ビンス」</p> <p>Vince : (2) “Yes, I’d better get going now. I’ve got to do a bit of Christmas shopping for the kids on the way home.” 「うん、もう帰らないとね。帰りにちょっと子供たちにクリスマスのプレゼントを買わないといけなんだ」</p> <p>Toby : (3) “Oh, yes. You’ll be in big trouble if you don’t do that!” 「そうだね。それはやっておかないとね」</p> <p>Vince : (4) “Yes, right!” 「うん、そうなんだ！」</p> <p>Toby : (5) “Merry Christmas, Vince.” 「よいクリスマスを、ビンス」</p> <p>Vince : (6) “You, too, Toby.” 「君もよいクリスマスを、トビー」</p>
--

[ex. 1] は Christmas Eve (クリスマスイブ) の前日の 12 月 23 日に Toby と Vince が別れの挨拶をしているときの会話である。Toby と Vince は同じ職場の同僚であり、彼らの会社は [ex. 1] の翌日の 12 月 24 日から Christ-

mas (クリスマス) 休暇に入る。会社の同僚である Toby と Vince は Christmas (クリスマス) 休暇が終わるまで会う予定はない。

[ex. 1] (5) で Toby は Vince に “Merry Christmas, Vince.” と声をかけている。このように、年末から 12 月 24 日までとは人と別れるときに Merry Christmas. という習慣がある。この Merry Christmas. には「よい Christmas (クリスマス) を迎えてください」という気持ちが込められている。

[ex. 1] (6) で Vince は “You, too, Toby.” と応えている。このように、相手から Merry Christmas. と声をかけられた場合には、You, too. や The Same to you. と応える習慣がある²⁾。この You, too. や The Same to you. にも「あなたもよい Christmas (クリスマス) を迎えてください」という気持ちが込められている。

年末から 12 月 24 日までは ① Merry Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas. がどれも人と別れるときの挨拶として使われる。ただし、この 3 つは相手と再会すると思われる時期によって使い分けられることもある。

① Merry Christmas and Happy New Year. は「よいクリスマスと新年を迎えてください」という挨拶表現である。この内容には新年になるまで相手と会わないことが含まれている。したがって、12 月 25 日から 12 月 31 日の間に相手と再会すると思われる場合には、① Merry Christmas and Happy New Year. (よいクリスマスと新年を迎えてください) が使われることは一般にない。

同じように ② Happy holidays. は話し手と相手が 12 月 25 日から 12 月 31 日の間に相手と再会すると思われる場合に使われることは一般にない。これは ② Happy holidays. で用いられている holidays (休暇) が Christmas (クリスマス) と New Year (新年) を合わせた休暇を指しているためである。つまり、相手に ② Happy holidays. (よいクリスマスの休暇と新年の休暇を迎えてください) と言えば、相手と Christmas (クリスマス) と New Year (新年) の holidays (休暇) が終わるまで会わないことが含意されることになるためである。

一方、③ Merry Christmas. は「よい Christmas (クリスマス) を迎えてください」という挨拶である。この挨拶には少なくとも Christmas (クリスマス) の期間に会わないということが含意されている。そのため、③ Merry Christmas. は 12 月 25 日から 12 月 31 日までに相手と再会すると思われる場合だけでなく、相手と 1 月 1 日まで相手と再会することがないと思われる場合に使われることもある。

例えば、[ex. 1] で Toby と Vince の会社の Christmas (クリスマス) 休暇が 12 月 25 日までで終わる場合には、会社の同僚である Toby と Vince は Christmas (クリスマス) 休暇が終わった 12 月 26 日には再会すると考えられる。したがって、この場合 [ex. 1] (5) で Toby が Vince に “Merry Christmas, Vince.” のように言うことはあるが、

“Merry Christmas and Happy New Year, Vince.” や “Happy holidays, Vince.” のように言うことは一般にない。

また, [ex. 1] で Toby と Vince の会社の Christmas (クリスマス) 休暇が 1 月 1 日まで続く場合には, 会社の同僚である Toby と Vince が 1 月 1 日以降まで再会しないことになる。したがって, この場合には [ex. 1] (5) で Toby が Vince に “Merry Christmas and Happy New Year, Vince.” と言うこともあれば, “Happy holidays, Vince.” や “Merry Christmas, Vince.” と言うこともある。

このように, 年末から Christmas Eve (クリスマスイブ) の 12 月 24 日までの期間では ① Merry Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas. が相手と再会すると思われる時期によって使い分けられる。この時期の相違をまとめると次の [ref. 2] になる。[ref. 2] において [12/26 から 12/31] は相手と 12 月 26 日から 12 月 31 日までに再会すると思われる場合, [1/1 以降] は相手と新年の 1 月 1 日以降になってから再会すると思われる場合を示している。また, ○はそれぞれの場合に当てはまること, —はそれぞれの場合に当てはまらないことを示している。

[ref. 2] Christmas に関わる挨拶表現 (2) [年末から 12 月 24 日まで]		
話し手と相手が再会と思われる時期	[12/26 から 12/31]	[1/1 以降]
① Merry Christmas and Happy New Year.	—	○
② Happy holidays.	—	○
③ Merry Christmas.	○	○

① Merry Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas. のうちで最も形式的でかたい響きを持つのは ① Merry Christmas and Happy New Year. である。これは Merry Christmas. と Happy New Year. という正式で伝統的な表現が合わせて用いられているためである。

一方, ① Merry Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas. のうちで最も軽くやわらかな響きを持つのは ② Happy holidays. である³⁾。これは Merry Christmas. と Happy New Year. という伝統的な表現を使わずに, これと同じ内容が holidays (休暇) という一般的な語によって間接的に表されているためである。

① Merry Christmas and Happy New Year. には「よいクリスマスと新年を迎えてください」というニュアンスがあり, Christmas と New Year の休暇を holidays で表す ② Happy holidays. にも「よいクリスマスと新年を迎えてください」という同じニュアンスがある。この 2 つは

Christmas (クリスマス) から New Year (新年) まで会わなくなることを具体的に表す丁寧な挨拶表現である。

一方, ③ Merry Christmas. には「よい Christmas (クリスマス) を迎えてください」というニュアンスがある。したがって, New Year's Day (元旦) になるまで再会することがないことがわかっている相手と別れるときに ③ Merry Christmas. と言えば, 相手と New Year (新年) まで会わなくなることを具体的に表していないことになる⁴⁾。そのため, この場合は ① Merry Christmas and Happy New Year. や ② Happy holidays. という場合よりもあいまいでくれた挨拶をしていることになる。

(2) 12 月 25 日の挨拶表現

Christmas Day (クリスマスの日) の 12 月 25 日には Christmas (クリスマス) に関わる挨拶表現 ① Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas. がどのように使い分けられるのだろうか。

Christmas Day (クリスマスの日) の 12 月 25 日において, 人と会ったときに使われるのか, 人と別れるときに使われるのかという点から ① Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas. を比べると次の [ref. 3] になる。[ref. 3] で用いられている語句と記号は [ref. 1] と同じである。

[ref. 3] Christmas に関わる挨拶表現 (3) [12 月 25 日]		
状況	会ったとき	別れるとき
① Merry Christmas and Happy New Year.	—	—
② Happy holidays.	—	—
③ Merry Christmas.	○	—

Christmas Day (クリスマスの日) の 12 月 25 日には ③ Merry Christmas. が人と「会ったとき」に使われ, 人と「別れるとき」に使われることは一般にない。また, Christmas Day (クリスマスの日) の 12 月 25 日には ① Merry Christmas and Happy New Year. や ② Happy holidays. が使われることは一般にない。

[ex. 2] 12 月 25 日の会話。Tom と John の親しい友人同士。

Tom : (1) “Hi, John. *Merry Christmas.*”

「やあ, ジョン, メリー・クリスマス」

John : (2) “*Merry Christmas, Tom. How are you doing?*”

「メリー・クリスマス, トム。調子はどう」

Tom : (3) “*Not so bad, thanks.*”

「元気だよ。どうも」

[ex. 2] は Christmas Day (クリスマスの日) の 12 月 25 日に Tom と John が会ったときの会話である。[ex. 2]

(2) で Tom は John に “Hi, John. *Merry Christmas.*” と声をかけている。このように, Christmas Day (クリスマスの日) の 12 月 25 日には人に会ったときに Merry Christmas. という習慣がある。この Merry Christmas. には「Christmas (クリスマス) おめでとう」という気持ちが込められている。

[ex. 2] (3) で Tom は “Hi, John. *Merry Christmas.*” と応えている。このように, 相手から Merry Christmas. と声をかけられた場合には, Merry Christmas. という同じことばで応える習慣がある。この応答にも「Christmas (クリスマス) おめでとう」という気持ちが込められている⁵⁾。

(3) 12 月 25 日から 12 月 31 日までの挨拶表現

New Year (新年) に関わる挨拶表現に ④ Have a good New Year./⑤ Have a nice New Year./⑥ Happy New Year. がある。この 3 つの挨拶表現は Christmas Day (クリスマスの日) の 12 月 25 日から New Year's Eve (大晦日) の 12 月 31 日までの期間においてどのように使い分けられているだろうか。

Christmas Day (クリスマスの日) の 12 月 25 日から New Year's Eve (大晦日) の 12 月 31 日までの期間で, 人と会ったときに使われるのか, 人と別れるときに使われるのかという点から ④ Christmas and Happy New Year./⑤ Happy holidays./⑥ Merry Christmas. を比べると [ref. 4] になる。[ref. 4] で用いられている語句と記号は [ref. 1] と同じである。

[ref. 4] New Year に関わる挨拶表現 (1) [12 月 25 日から 12 月 31 日まで]		
状況	会ったとき	別れるとき
④ Have a good New Year.	—	○
⑤ Have a nice New Year.	—	○
⑥ Happy New Year.	—	—

Christmas Day (クリスマスの日) の 12 月 25 日から New Year's Eve (大晦日) の 12 月 31 日までは ④ Have a good New Year. と ⑤ Have a nice New Year. が人と「別れるとき」に使われ, 人と「会ったとき」に使われることは一般にない⁶⁾。また, この期間においては ⑥ Happy New Year. が使われることは一般にない。

[ex. 3] 12 月 29 日の会話。Lucy と Tom は親しい友人同士。

Lucy : (1) “Well, I've got to go now.”
「さあ, もう行かなくちゃ」

Tom : (2) “OK. *Have a nice New Year, Lucy.*”
「わかったよ, よいお年を」

Lucy : (3) “*You, too, Tom.*”
「あなたもね, トム」

Tom : (4) “See you.”
「またね」

Lucy : (5) “See you.”
「またね」

[ex. 3] は 12 月 29 日に Lucy と Tom が別れるときの会話である。[ex. 3] (2) で Tom は Lucy に “OK. *Have a nice New Year, Lucy.*” と言っている。このように, Christmas Day (クリスマスの日) の 12 月 25 日から New Year's Eve (大晦日) の 12 月 31 日までは人と別れるときに ④ Have a nice New Year. や ⑤ Have a good New Year. と言うことがある。この 2 つの挨拶表現にはどちらも「よい New Year (新年) を迎えてください」という気持ちが込められている。

[ex. 3] (3) で Lucy は “*You, too, Tom.*” と応えている。このように, ④ Have a good New Year. や ⑤ Have a nice New Year. に対しては You, too. や The same to you. と応える習慣がある。この You, too. や The same to you. にも「あなたもよい New Year (新年) を迎えてください」という気持ちが込められている。

④ Have a good New Year. と ⑤ Have a nice New Year. は「よい New Year (新年) を迎えてください」という挨拶表現である。したがって, この 2 つの挨拶表現は相手と New Year's Day (元旦) の 1 月 1 日まで会わないと思われるときに使われ, 相手と New Year's Eve (大晦日) までに再会すると思われるときに使われることは一般にない。

例えば, [ex. 3] (2) で Tom は Lucy に “OK. *Have a good New Year, Lucy.*” と言っている。これは Tom と Lucy が New Year's Day (元旦) の 1 月 1 日まで再会しないことを前提とした挨拶である。[ex. 3] で Tom と Lucy が翌日の 12 月 31 日までに再会すると思われる場合には [ex. 3] (2) で “OK. *Have a good New Year, Lucy.*” や “OK. *Have a nice New Year, Lucy.*” のように言うことは一般にない。

(4) 1 月 1 日の挨拶表現

New Year's Day (元旦) の 1 月 1 日には New Year (新年) に関わる挨拶表現 ④ Have a good New Year./⑤ Have a nice New Year./⑥ Happy New Year. がどのように使い分けられるのだろうか。

New Year's Day (元旦) の 1 月 1 日において, 人と会ったときに使われるのか, 人と別れるときに使われるのかという点から ④ Have a good New Year./⑤ Have a nice New Year./⑥ Happy New Year. を比べると次の [ref. 5] になる。[ref. 5] で用いられている語句と記号は [ref. 1] と同じである。

[ref. 5] New Year に関わる挨拶表現 (2) [1月1日]		
状況	会ったとき	別れるとき
④ Have a good New Year.	—	—
⑤ Have a nice New Year.	—	—
⑥ Happy New Year.	○	—

New Year's Day (元旦) の1月1日には⑥ Happy New Year. が人と「会ったとき」に使われ、人と「別れるとき」に使われることは一般にない。また、New Year's Day (元旦) の1月1日には④ Have a good New Year. や⑤ Have a nice New Year. が使われることは一般にない。

[ex. 4] 1月1日の会話。Tom と John は友人同士。	
Tom が John を見かけて声をかけている。	
Tom : (1) “Hi, John. <i>Happy New Year.</i> ”	「やあ、ジョン。あけましておめでとう」
John : (2) “ <i>Happy New Year, Tom. How are you doing?</i> ”	「あけましておめでとう、トム。調子はどう？」
Tom : (3) “OK. How about you?”	「まあまあだよ。君はどう？」
John : (4) “Not bad, thanks.”	「悪くないよ。どうも」

[ex. 4] は New Year's Day (元旦) の1月1日に Tom と John が会ったときの会話である。[ex.4] (1) で Tom は John に “Hi, John. *Happy New Year.*” と声をかけている。このように、New Year's Day (元旦) の1月1日には人と会ったときに Happy New Year. という習慣がある。この Happy New Year. には「New Year (新年あけまして) happy (おめでとうございます)」という気持ちが込められている。

[ex. 4] (2) で John は “*Happy New Year, Tom.*” と応えている。このように、相手から Happy New Year. と声をかけられた場合には、Happy New Year. という同じことばで応える習慣がある。この応答にも「New Year (新年) あけましておめでとうございます」という気持ちが込められている⁷⁾。

(5) Christmas や New Year に関わる挨拶表現の性質

ここまで① Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas./④ Have a good New Year./⑤ Have a nice New Year./⑥ Happy New Year. について論じてきた。ここまでの論点を次の [ref. 6] にまとめる。[ref. 6] において「会ったとき」は人と会ったときの挨拶として使われること、「別れるとき」は人と会ってしばらく話をした後でその人と別れるときの挨拶として使われる

こと、「You, too.」は応答として You, too./The same to you. が使われること、「同じことば」は相手が使ったことばと同じことばで応答とすることを示している。また、[年末から 12/24 まで] は年末から 12 月 24 日までの期間に使われること、[12/25] は 12 月 25 日に使われること、[12/25 から 12/31 まで] は 12 月 25 日から 12 月 31 日までの期間に使われること、[1/1] は 1 月 1 日に使われることを示している。なお、○はそれぞれの性質を伴って [] 内の期間に使われること、—はそれぞれの性質を伴って使われることが一般にないことを示している。

[ref. 6] Christmas と New Year に関わる挨拶表現の性質		
状況	会ったとき	別れるとき
応答	同じことば	You, too.
① Merry Christmas and Happy New Year.	—	○[年末から 12/24 まで]
② Happy holidays.		
③ Merry Christmas.	○[12/25]	
④ Have a good New Year.	—	○[12/25 から 12/31 まで]
⑤ Have a nice New Year.		
⑥ Happy New Year.	○[1/1]	—

① Christmas and Happy New Year. と② Happy holidays. はどちらも年末から 12 月 24 日の期間に人と「別れるとき」に使われ、人と「会ったとき」に使われることはない。この点で① Christmas and Happy New Year. と② Happy holidays. は同義語である。

③ Merry Christmas. は年末から 12 月 24 日まで人と「別れるとき」に使われる点で① Christmas and Happy New Year. や② Happy holidays. と同じである。しかし、Christmas Day (クリスマスの日) の12月25日に人と「会ったとき」に使われる点では① Christmas and Happy New Year. や② Happy holidays. と大きく異なる。

④ Have a good New Year. と⑤ Have a nice New Year. はどちらも 12 月 25 日から 12 月 31 日まで人と「別れるとき」に使われ、人と「会ったとき」に使われることはない。この点で④ Have a good New Year. と⑤ Have a nice New Year. は同義語である⁸⁾。

⑤ Happy New Year. と③ Merry Christmas. はどちらも人と「会ったとき」の挨拶として使われる点で似ている。しかし、③ Merry Christmas. は人と「別れるとき」にも使われるが、⑤ Happy New Year. は人と「別れるとき」に使われることはない⁹⁾。

① Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas./④ Have a good New Year./⑤ Have a nice New Year. は人と「別れるとき」に使われる点で同じである。この 5 つの挨拶表現にはどれも「よい

Christmas (クリスマス) を迎えてください」や「よい New Year (新年) を迎えてください」という気持ちが込められている。また、この5つの挨拶表現への応答としてはどれも You, too/The same to you. が使われる。この応答にも「あなたもよい Christmas (クリスマス) を迎えてください」や「あなたもよい New Year (新年) を迎えてください」という気持ちが込められている。

③ Merry Christmas./⑥ Happy New Year. は人と「会ったとき」に使われる点で同じである。この2つの挨拶表現には「Christmas (クリスマス) おめでとう」や「New Year (新年) おめでとう」という気持ちが込められている。また、この2つの挨拶表現への応答としては ③ Merry Christmas./⑥ Happy New Year. という同じことばが使われる。この応答にも「Christmas (クリスマス) おめでとう」や「New Year (新年) おめでとう」という気持ちが込められている。

3. Nice to meet you. や Nice meeting you. などの挨拶表現

この章の「(1) Nice meet you. などが用いられる状況」では⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. が用いられる状況について論じている。また、この章の「(2) Nice meeting you. などが用いられる状況」では⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. が用いられる状況について論じている。さらに、この章の「(3) “to~” を含む挨拶表現と “~ing” を含む挨拶表現の性質」では⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you./⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. に含まれる “to~” / “~ing” や nice/great/good や meet/see/talk のニュアンスの違いについてまとめている。

(1) Nice to meet you. などが用いられる状況

日常の会話でよく使われる挨拶表現に⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. がある。この4つの挨拶表現はそれぞれどのように使い分けられているのだろうか。

人と会ったときに使われるのか、人と別れるときに使われるのかという点から⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. を比べると [ref. 7] になる。[ref. 7] で用いられている語句と記号は [ref. 1] と同じである。

[ref. 7] “to~” を含む挨拶表現 (1)		
状況	会ったとき	別れるとき
⑦ Nice to meet you.	○	—
⑧ Nice to see you again.	○	—

⑨ Great to see you.	○	—
⑩ Good to see you.	○	—

⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. はどれも人と「会ったとき」に使われ、人と「別れるとき」に使われることは一般にない。

[ex. 5] Alan は Lisa の友人, Mr O'Brien は Lisa の父親。Lisa が Alan を Mr O'Brien に紹介し, Mr O'Brien を Alan に紹介している。

Lisa : (1) “Alan, this is my dad. Dad, this is Alan.”

「アラン, これが私の父よ。お父さん, こちらがアランよ」

Alan : (2) “Hello, Mr O'Brien. *Nice to meet you.*”

「こんにちは, オブライエンさん。お会いできてうれしいです」

Mr O'Brien : (3) “Hi, Alan. How're you doing?”

「こんにちは, アラン。元気ですか?」

Alan : (4) “Just fine, thank you. And you.”

「元気です。オブライエンさんはいかがですか」

Mr O'Brien : (5) “I'm pretty good. Thank you.”

「元気です。ありがとう」

[ex. 5] で Alan は Lisa の友人であり, Mr O'Brien は Lisa の父親である。Lisa から Mr O'Brien を紹介された Alan は [ex. 5] (2) で Mr O'Brien に “Hello, Mr O'Brien. *Nice to meet you.*” と言っている。このように, ⑦ Nice to meet you. は初対面の人と会ったときに使われる。

[ex. 6] Carl Simpson (以後 CS と呼ぶ) と Josh Harrison (以後 JH と呼ぶ) は面識のある知り合い同士。CS が JH を見つけて声をかけている。

CS : (1) “Mr Harrison, how are you today?”

「ハリソンさん, ご機嫌いかがですか」

JH : (2) “Just fine, thank you, Carl. And you?”

「元気です。ありがとう, カール。君はどうですか」

CS : (3) “Just fine. *Nice to see you again.*”

「元気です。また, お会いできてうれしいです」

[ex. 6] で CS と JH は以前に一度会ったことはあるが, 友人と言えるほど親しい関係にはない。[ex. 6] (1) で CS は JH に “Mr Harrison, how are you today?” と声をかけ, [ex. 6] (2) で JH は “Just fine. *Nice to see you again.*” と応えている。このように, ⑧ Nice to see you again. はあまり親しい関係にない人と再会したときになどに使われる。

[ex. 7] John と Tom は親しい友人同士。
 John : (1) “Oh, Tom. I haven’t seen you for ages.”
 「やあ, トム。久しぶりだね」
 Tom : (2) “Yeah. *Great to see you*, John.”
 「そうだね。会えてうれしいな, ジョン」
 John : (3) “*Good to see you*, too. How have you been?”
 「僕もうれしいよ, ジョン。調子はどう」
 Tom : (4) “Pretty good. How about you?”
 「元気だよ。君はどう」
 John : (5) “Not bad.”
 「まあまあだよ」

[ex. 7] で John と Tom は親しい友人同士である。[ex. 7] (2) で John は久しぶりに会った Tom に “Yeah. *Great to see you*, John.” と声をかけ, [ex. 7] (3) で Tom は “*Good to see you*, too.” と応えている。このように, ⑨ *Great to see you*. と ⑩ *Good to see you*. は友人や知人に久しぶりに会ったときなどに使われる。

初対面の人に対して使われるか, 以前からの知り合いに対して使われるかという点から ⑦ *Nice to meet you*./⑧ *Nice to see you again*./⑨ *Great to see you*./⑩ *Good to see you*. を比べると次の [ref. 8] になる。[ref. 8] において「初対面の人」は相手が発話以前に会ったことがない人である場合, 「知人や友人」は相手が発話以前に会ったことがある人である場合 (相手が発話以前に一度だけ会った人である場合, 相手が発話以前に数度会ったことがある人である場合, 相手が発話以前に何度も会ったことのある友人である場合などを含む) を示している。また, ○はそれぞれの場合に使われること, 一はそれぞれの場合に使われないことを示している。

[ref. 8] “to~” を含む挨拶表現 (2)		
相手	初対面の人	知人や友人
⑦ <i>Nice to meet you</i> .	○	—
⑧ <i>Nice to see you again</i> .	—	○
⑨ <i>Great to see you</i> .	○	○
⑩ <i>Good to see you</i> .	○	○

⑦ *Nice to meet you*. は相手と初めて meet (会った) ときの喜びを伝える正式な挨拶表現である。したがって, 「初対面の人」に対して使われることはあるが, 「知人や友人」に対して使われることは一般にない。

[ex. 5] (2) で Alan は Mr O’Brien に “Hello, Mr O’Brien. *Nice to meet you*.” と言っている。ここで Alan がこのような形式的でかたい挨拶をしているのは, 相手の Mr O’Brien が Alan の友人の父親であり, 話し手の Alan にとって目

上に当たるためである¹⁰⁾。この礼儀正しい挨拶には Mr O’Brien に対する敬意が込められている。

⑧ *Nice to see you again*. は相手と see again (再会した) ときの喜びを伝える正式な挨拶表現である。したがって, 「知人や友人」に対して使われることはあるが, 「初対面の人」に対して使われることは一般にない¹¹⁾。

⑧ *Nice to see you again*. は「you (あなたに) again (再び) see (会う)」というニュアンスがある。このように以前に会ったことをあらためて相手に伝える ⑧ *Nice to see you again*. には形式的でかたい響きがある。[ex. 6] では CS が JH に [ex. 6] (3) “Just fine. *Nice to see you again*.” と言っている。ここでこのようなかたい挨拶表現が使われているのは, 話し手の CS が相手の JH と一度しか会ったことがないためである。

⑨ *Great to see you*. には「you (あなたに) to see (会って) great (うれしい)」というニュアンスがあり, ⑩ *Good to see you*. には「you (あなたに) to see (会って) good (よかった)」というニュアンスがある。この2つはどちらも相手と会ったことの喜びを伝える挨拶表現である。したがって, [ex. 7] (2) や [ex. 7] (3) のように長い間会わなかった友人に久しぶりに会ったときなどに使われることが多いが, 面識のない相手と初めて会ったときに使われることもある。特に, 相手と初めて会うときでも, 会う前から相手に対して親しみを感じている場合には, ⑨ *Great to see you*. や ⑩ *Good to see you*. が挨拶表現として使われることがある。

例えば, A と B が友人同士であり, B に C という友人がいるとする。そして, A は C と会ったことはないが, B から C のことについて多くのことを聞かされているとする。このような状況で A が C と初めて会った場合には, A が C に *Great to see you at last*. (やっとあなたに会えてとてもうれしいです) や *Good to see you at last*. (やっとあなたに会えてよかった) のように言うことがある。この場合には「B から C について多くのことを聞かされていたために以前から C に会いたいと思っていたが, やっと C に会えてうれしい」のような気持ちを込めて挨拶していることになる。

(2) *Nice meeting you*. などが用いられる状況

⑦ *Nice to meet you*./⑧ *Nice to see you again*./⑨ *Great to see you*./⑩ *Good to see you*. に似た挨拶表現に ⑪ *Nice meeting you*./⑫ *Nice seeing you again*./⑬ *Nice talking to you*. がある。この3つの挨拶表現は ⑦ *Nice to meet you*./⑧ *Nice to see you again*./⑨ *Great to see you*./⑩ *Good to see you*. とどのように異なり, それぞれどのように使い分けられているのだろうか。

人と会ったときに使われるのか, 人と別れるときに使われるのかという点から ⑪ *Nice meeting you*./⑫ *Nice seeing you again*./⑬ *Nice talking to you*. を比べると [ref. 9] になる。[ref. 9] で用いられている語句と記号は [ref.

1]と同じである。

[ref. 9] “~ing” を含む挨拶表現 (1)		
状況	会ったとき	別れるとき
⑪ Nice meeting you.	—	○
⑫ Nice seeing you again.	—	○
⑬ Nice talking to you.	—	○

⑤ Nice meeting you./⑥ Nice seeing you again./⑦ Nice talking to you. はどれも人と「別れるとき」に使われ、人と「会ったとき」に使われることは一般にない。

<p>[ex. 8] Nick と Mrs Kelly の会話。Nick は Alex の友人、Mrs Kelly は Alex の母親。Nick が Alex の家を訪れた後、Alex の家から立ち去ろうとしている。</p> <p>Nick : (1) “Would you ask Alex to call me later, please?” 「すみませんが、アレックスに後で電話するように伝えておいてくれますか」</p> <p>Mrs Kelly : (2) “Sure, I’ll tell him.” 「ええ、言っておくわ」</p> <p>Nick : (3) “Thank you. <i>Nice meeting you</i>, Mrs Kelly.” 「どうもありがとう。お会いできてよかったです、ケリーさん」</p> <p>Mrs Kelly : (4) “<i>Nice talking to you</i>, Nick.” 「お話をできてよかったわ、ニック」</p> <p>Nick : (5) “See you.” 「さようなら」</p> <p>Mrs Kelly : (6) “See you.” 「さようなら」</p>

[ex. 8] は Nick が友人の Alex に会うために Alex の家を訪れたときの会話である。あいにく Alex が留守であったため、Nick は Alex の家にいた Alex の母親 Mrs Kelly としばらく話をした後で Alex の家から立ち去ろうとしている。このとき Nick と Mrs Kelly は初対面である。

[ex. 8] (3) で Nick は Mrs Kelly に “*Nice meeting to you*, Mrs Kelly.” と声をかけ、[ex. 4] (4) で Mrs Kelly は “*Nice talking to you*, Nick.” と応えている。このように、*Nice meeting you*. と *Nice talking to you*. はどちらも人と会ってしばらく話をした後で別れるときに使われる。

初対面の人に対して使われるか、以前からの知り合いに対して使われるかという点から ⑪ *Nice meeting you*./⑫ *Nice seeing you again*./⑬ *Nice talking to you*. を比べると次の [ref. 10] になる。[ref. 10] で用いられている語句と記号は [ref. 8] と同じである。

[ref. 10] “~ing” を含む挨拶表現 (2)		
相手	初対面の人	知人や友人
⑪ <i>Nice meeting you</i> .	○	—
⑫ <i>Nice seeing you again</i> .	—	○
⑬ <i>Nice talking to you</i> .	○	○

⑪ *Nice meeting you*. は ⑦ *Nice to meet you*. と同じように相手と初めて会ったときの喜びを伝える正式な挨拶表現である。したがって、⑪ *Nice meeting you*. は「初対面の人」に対して使われ、「知人や友人」に対して使われることは一般にない。

[ex. 8] (3) で Nick は初対面の Mrs Kelly に “Thank you. *Nice meeting you*, Mrs Kelly.” と言っている。ここで Nick がこのような形式的でかたい挨拶をしているのは、相手の Mrs Kelly が Nick の友人の母親であり、Nick にとって目上に当たるためである。この礼儀正しい挨拶には目上の Mrs Kelly に対する敬意が込められている。

⑫ *Nice seeing you again*. は ⑧ *Nice to see you again*. と同じように以前に会ったことのある人と *see again* (再び会った) ときの喜びを伝える挨拶表現である。したがって、⑫ *Nice seeing you again*. は「知人や友人」に対して使われ、「初対面の人」に対して使われることは一般にない。

⑧ *Nice to see you again*. と同じように ⑫ *Nice seeing you again*. は以前に会ったことをあらためて相手に伝える挨拶表現である。そのため、⑧ *Nice to see you again*. と同じように ⑫ *Nice seeing you again*. には形式的でかたい響きがある。例えば、Nick が Mrs Kelly と以前に一度会ったことがある場合には、[ex. 8] (3) で Nick が Mrs Kelly に “Thank you. *Nice seeing you again*, Mrs Kelly.” のように言うことも考えられる。この場合には Nick が Mrs Kelly に敬意を込めて礼儀正しい挨拶をしていることになる。

⑬ *Nice talking to you*. は相手と *talk* (話した) ことに対する喜びを伝える挨拶表現である。したがって、相手が「初対面の人」であっても「陣や友人」であっても、⑬ *Nice talking to you*. は相手と会ってしばらく話した後であるならどのような場合でも使われる。

⑬ *Nice talking to you*. には ⑪ *Nice meeting you*. や ⑫ *Nice seeing you again*. にはないやわらかな親しみがある。例えば、[ex. 8] (4) では Mrs Kelly が Nick に “*Nice talking to you*, Nick.” と言っている。このように特に目上の者が目下の者に ⑬ *Nice talking to you*. を使う場合には、やわらかな親しみによって相手を気軽にさせようという思いやりややさしさが伝わることになる。

(3) *Nice to meet you*. や *Nice meeting you*. などの性質

ここまでは ⑦ *Nice to meet you*./⑧ *Nice to see you*

again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. と ⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. が用いられる状況について論じてきた。ここからは、この7つの挨拶表現で用いられている“to～”/“～ing”, nice/great/good, meet/see/talk に注目しながら、それぞれのニュアンスの違いについて検証する。

まず、“to～”と“～ing”が持つイメージの違いについて考えてみる。⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. ではどれも“to～”が使われ、⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. ではどれも“～ing”が使われている。この“to～”と“～ing”はどちらも「～して」のように訳されるが、それぞれによって表されるイメージにはどのような違いがあるのだろうか。

“to～”を用いる⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. はどれも相手と会ってすぐに使われる挨拶表現である。このことから考えれば、この4つの挨拶表現で用いられている to meet/to see には「今会って」のような響きがあることになる。このように発話される時点で重心を置く響きがあることを本稿では「現在性」と呼ぶことにする¹²⁾。

一方、“～ing”を用いる⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. はどれも相手と会ってしばらく話をした後で相手と別れるときに使われる挨拶表現である。この点から考えれば、この3つの挨拶表現で用いられている meeting/seeing や talking には「今まで会っていて」や「今まで話をしている」というような響きがあることになる。このような発話よりも前の時点を振り返る響きがあることを本稿では「過去性」と呼ぶことにする。

⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. の「未来性」と⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. の「過去性」のイメージを図で示すと次の [ref. 11] のようになる¹³⁾。[ref. 11] において一番下の左から右に長く伸びる矢印は過去から現在・未来へと続く時間の経過を示している。また、[現在] の下の縦線は現在時（発話さ

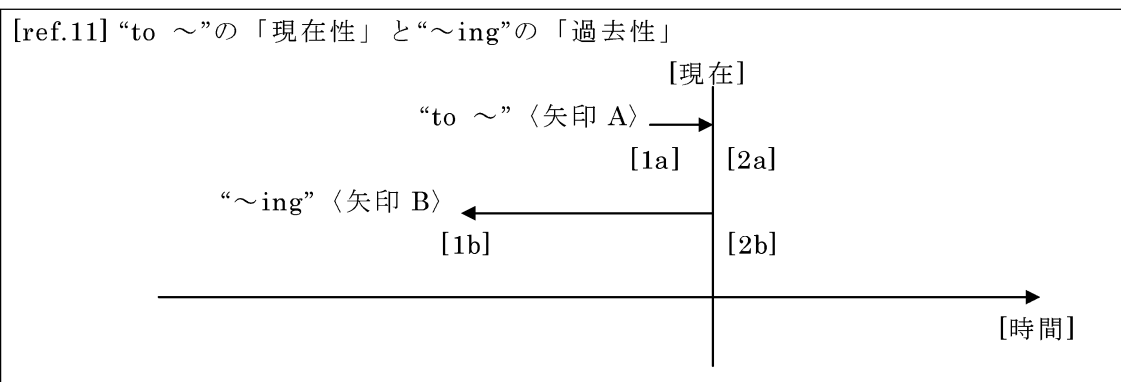
れている時点）を示している。

⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. に含まれる to meet/to see は発話が行われる「現在」([ref. 11] では [2a]) に重点を置いて「今会って」のように述べている響きがある。この「現在性」のイメージは [ref. 11] において矢印の先が [2a] に向かう〈矢印 A〉で表されている。一方、⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. に含まれる meeting/seeing や talking は発話よりも前の「過去」([ref. 11] では [1b]) を振り返りながら「今まで会っていて」や「今まで話している」というように述べている響きがある。この「過去性」のイメージは [ref. 11] において矢印の先が過去 [1b] に向かう〈矢印 B〉で表されている。

今度は nice/great/good という3つの形容詞の違いについて考えてみる。⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑩ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. では nice が使われ、⑨ Great to see you. と⑩ Good to see you. では great と good が使われている。この nice/great/good はいずれも肯定的な評価を表す形容詞だが、それぞれが表す内容にはどのような違いがあるのだろうか。

nice/great/good は (a) He has a nice car./ (b) He has a great car./ (c) He has a good car. のように使われることがある。この (a) (b) (c) において nice/great/good はどのような内容を表しているのだろうか。以下では (a) (b) (c) における nice/great/good の内容と比べながら、⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑩ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. における nice/great/good のニュアンスの相違を考えてみる。

次の [ex. 12] では (a) (b) (c) における nice/great/good の内容が『 』内に示されている。



[ref. 12] nice/great/good の相違	
(a) He has a <i>nice</i> car.	彼は『いい感じの』自動車を持っている。
(b) He has a <i>great</i> car.	彼は『すごい』自動車を持っている。
(c) He has a <i>good</i> car.	彼は『いい』自動車を持っている。

nice には great や good よりも表面的で軽い響きがある。したがって、話し手が he (彼) の car (自動車) に乗ったことがなく、he (彼) の car (自動車) についてよく知らないまま自分の印象について語る場合には、nice を使って (a) He has a *nice* car. (彼は『いい感じの』自動車を持っている) のように言うことがある。これは話し手の表面的な印象を軽く伝える言い方である。これと同じ表面的で軽い響きが⑦ *Nice to meet you.*/⑪ *Nice meeting you.*/⑧ *Nice to see you again.*/⑫ *Nice seeing you again.*/⑨ *Nice talking to you.* にもある。これは相手と会ったことや話したことが nice という形容詞で評価されているためである。

great や good には nice よりも内面的で強い響きがある。したがって、he (彼) の car (自動車) に乗ったことがあり、he (彼) の car (自動車) についてよく知っている上で自分の判断を伝える場合には、great や good を使って (b) He has a *great* car. (彼は『すごい』自動車を持っている) や (c) He has a *good* car. (彼は『いい』自動車を持っている) のように言うことがある。この2つは話し手がある程度自分の発言に責任を持って自分の判断を伝える響きがある。

nice ほどの表面的で軽い響きを持たない点で great と good は似ているが、込められる感情の程度において great と good には大きな違いがある。例えば、great を使って (b) He has a *great* car. (彼は『すごい』車を持っている) と言った場合には、話し手が一時的な強い感情を込めて he (彼) の car (自動車) を評価していることになる。一方、good を使って (c) He has a *good* car. (彼は『いい』自動車を持っている) と言った場合には、話し手が落ち着いて冷静に he (彼) の car (自動車) を評価していることになる。

このような great と good の類似と相違は⑨ *Great to see you.* と⑩ *Good to see you.* の great と good にも当てはまる。⑨ *Great to see you.* や⑩ *Good to see you.* は相手と会ったことを great や good と評価する挨拶表現である。この great や good は内面的な判断を表しているため、⑨ *Great to see you.* や⑩ *Good to see you.* には⑧ *Nice to meet you.* のような表面的で軽い響きはない。一方、⑨ *Great to see you.* には⑩ *Good to see you.* よりも強い喜びが込められている。このような強い響きが⑨ *Great to see you.* に感じられるのは great という感情的な形容詞が使われているためである。

最後に meet/see/talk という3つ動詞の違いについて考えてみる。⑦ *Nice to meet you.*/⑪ *Nice meeting you.* と⑧ *Nice to see you again.*/⑨ *Great to see you.*/⑩ *Good to see you.*/⑫ *Nice seeing you again.* では meet/see が使われ、⑬ *Nice talking to you.* では talk が使われている。この meet/see や talk は「会う」や「話す」と訳されるが、それぞれが表す内容にはどのような違いがあるのだろうか。

meet/see/talk は (d) *I met my wife at college.*/(e) *Are you seeing anyone?*/(f) *I talked to Tom today.* のように使われることがある。この (d) (e) (f) において meet/see/talk はどのような内容を表しているのだろうか。以下では (d) (e) (f) における meet/see/talk の内容と比べながら、⑦ *Nice to meet you.*/⑪ *Nice meeting you.*/⑧ *Nice to see you again.*/⑨ *Great to see you.*/⑩ *Good to see you.*/⑫ *Nice seeing you again.*/⑬ *Nice talking to you.* における meet/see/talk のニュアンスの相違を考えてみる¹⁴⁾。

次の [ref. 13] では (d) (e) (f) における meet/see/talk の意味が『 』内に示されている。

[ref. 13] meet/see/talk の相違	
(d) <i>I met my wife at college.</i>	私は大学で妻と『知り合った』。
(e) <i>Are you seeing anyone?</i>	あなたは誰かと『つき合っていますか』。
(f) <i>I talked to Tom today.</i>	今日私はトムと『話をした』。

(d) *I met my wife at college.* (私は大学で妻と『知り合った』) において meet は『知り合う』あるいは『初めて会う』という意味を表している。これと同じ『知り合う』あるいは『初めて会う』という意味が⑦ *Nice to meet you.* や⑪ *Nice meeting you.* の meet にも表れている。これは⑦ *Nice to meet you.* や⑪ *Nice meeting you.* が初対面の相手と meet (会った) ときに使われることから明らかである。この meet の表す内容から考えれば、この meet には初対面の人に会ったときに感じるようなかたさがあることになる。

(e) *Are you seeing anyone?* (あなたは誰かと『つき合っていますか』) では see が恋愛感情を持って異性と『つき合う』という意味を表している。これをより広い意味でとらえるなら、この see には『親しみを持って会う』という意味があるとも考えられる。これと同じ『親しみを持って会う』という意味が⑧ *Nice to see you again.* や⑫ *Nice seeing you again.* の see にも表れている。これは⑧ *Nice to see you again.* や⑫ *Nice seeing you again.* が以前に一度会ったことのある人に see again (再び会う) ときに使われることから明らかである。この内容から考えれば、この see には知り合いに会ったときに感じるような親しみがあり、⑦ *Nice to meet you.* や⑪ *Nice meeting you.* の

meet ほどのかたさはないことになる。

⑨ Great to see you. と ⑩ Good to see you. は友人と久しぶりに会ったときにしばしば使われる。また、初対面の人と会ったときに使われることもあるが、この場合には以前からつき合いのある友人に会ったときのような親しみが込められることになる。この親しみは個人的な判断を表す great や good という形容詞によっても表されているが、see という動詞によっても表されていると考えられる。なぜなら、⑨ Great to see you. と ⑩ Good to see you. の see には (e) Are you seeing anyone? の see と同じ『親しみを持って会う』という意味があるためである。

(f) I talked to Tom today. (私は今日トムと話をした) では talk が『話をする』あるいは『個人的な話をする』という意味を表している。これと同じ『話をする』あるいは『個人的な話をする』という意味が ⑬ Nice talking to you. の talk にも表れている。これは ⑬ Nice talking to you. が相手と個人的に talk (話した) 後で使われることから明らかである。この内容から考えれば、この talk には個人的に話をした後に感じるような親しみがああり、⑦ Nice to meet you. や ⑪ Nice meeting you. の meet ほどのかたさはないことになる。

この章の前半では ⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you./⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. が用いられる状況について論じた。また、この章の後半では ⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you./⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. で用いられる “to~”/“~ing” と nice/great/good と meet/see/talk のニュアンスの違いについて論じた。以上の2点を比較しながら、それぞれの挨拶表現の相違を以下にまとめる。

“to~” と “~ing” のうちどちらが用いられているのか、また、どのような状況で用いられるのかという点から ⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you./⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. の相違をまとめると次の [ref. 14] になる。[ref. 14] において “to~”/「会ったとき」は “to~” を用いて人と会ったときの挨拶として使われること、「~ing”/「別れるとき」は “~ing” を用いて人と別れるときの挨拶として使われることを示している。また、○はそれぞれの性質に当てはまること、— はそれぞれの性質に当てはまらないことを示して。

[ref. 14] Nice to meet you. や Nice meeting you. などの性質 (1)		
	“to~”/ 会ったとき	“~ing”/ 別れるとき
⑦ Nice to meet you.	○	—

⑧ Nice to see you again.	○	—
⑨ Great to see you.	○	—
⑩ Good to see you.	○	—
⑪ Nice meeting you.	—	○
⑫ Nice seeing you again.	—	○
⑬ Nice talking to you.	—	○

[ref. 14] から次のことが明らかである。“to~” を用いる ⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. は相手と「会ったとき」に使われ、“~ing” を用いる ⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. は相手と会ってしばらく話しをした後で「別れるとき」に使われる。したがって、“to~” を用いる ⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. には発話される時点で重心を置く [現在性] があり、“~ing” を用いる ⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. には発話よりも前の時点振り返る [過去性] がある。

どのような相手に対して用いられるのかという点から ⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you./⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. の性質をまとめると次の [ref. 16] になる。[ref. 15] で用いられている語句と記号は [ref. 8] と同じである。

[ref. 15] Nice to meet you. や Nice meeting you. などの性質 (2)		
相手	初対面の人	知人や友人
⑦ Nice to meet you.	○	—
⑧ Nice to see you again.	—	○
⑨ Great to see you.	○	○
⑩ Good to see you.	○	○
⑪ Nice meeting you.	○	—
⑫ Nice seeing you again.	—	○
⑬ Nice talking to you.	○	○

どのような形容詞が用いられているのか、また、用いられている形容詞にどのようなニュアンスがあるのかという点から ⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you./⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. の相違をまとめると次の [ref. 16] になる。次の [ref. 16] において “nice” [軽い] は nice によって表面的な軽い印象

が表されていること, “great” [感情] は great によって一時的な強い感情が表されていること, “good” [冷静] は good によって話し手の判断が落ち着いて冷静に表されていることを示している。また, ○はそれぞれに当てはまること, —はそれぞれに当てはまらないことを示している。

[ref. 16] Nice to meet you. や Nice meeting you. などの性質 (3)			
用いられる形容詞	“nice” [軽い]	“great” [感情]	“good” [冷静]
⑦ Nice to meet you.	○	—	—
⑧ Nice to see you again.	○	—	—
⑨ Great to see you.	—	○	—
⑩ Good to see you.	—	—	○
⑪ Nice meeting you.	○	—	—
⑫ Nice seeing you again.	○	—	—
⑬ Nice talking to you.	○	—	—

どのような動詞が用いられているのか, また, 用いられている動詞にどのようなニュアンスがあるのかという点から ⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you./⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. をまとめると次の [ref. 17] になる。次の [ref. 17] において “meet” [かたさ] は meet によって初対面の人に出会ったときに感じるようなかたさが表されていること, “see” [親しみ] は see によって以前からの知り合いに出会ったときに感じるような親しみが表されていること, “talk” [親しみ] は talk によって個人的に話をした後感じるような親しみが表されていることを示している。また, ○はそれぞれに当てはまること, —はそれぞれに当てはまらないことを示している。

[ref. 17] Nice to meet you. や Nice meeting you. などの性質 (4)			
用いられる動詞	“meet” [かたさ]	“see” [親しみ]	“talk” [親しみ]
⑦ Nice to meet you.	○	—	—
⑧ Nice to see you again.	—	○	—
⑨ Great to see you.	—	○	—
⑩ Good to see you.	—	○	—
⑪ Nice meeting you.	○	—	—
⑫ Nice seeing you again.	—	○	—
⑬ Nice talking to you.	—	—	○

[ref. 15] [ref. 16] [ref. 17] から次のことが明らかである。

⑦ Nice to meet you. と ⑪ Nice meeting you. は「初対面の人」に対して使われる点, nice と meet が使われている点でよく似ている。この2つはどちらも「初対面の人」と meet (知り合う) ことを nice (いい感じだ) と評価する挨拶表現である。meet を使っている点で ⑦ Nice to meet you. と ⑪ Nice meeting you. には初対面の人に出会ったときに感じるようなかたさがあり, nice を使っている点では相手と出会ったときの表面的な印象を軽く伝えている響きがある。

⑧ Nice to see you again. と ⑫ Nice seeing you again. は以前に出会ったことのある「知人や友人」に対して使われる点, nice と see again が使われている点でよく似ている。この2つはどちらも「知人や友人」と see again (親しみを持って再び会う) ことを nice (いい感じだ) と評価する挨拶表現である。see を使っている点で ⑧ Nice to see you again. と ⑫ Nice seeing you again. には以前からの知り合いに出会ったときに感じるような親しみがある一方で, nice を使っている点では相手と出会ったときの表面的な印象を軽く伝えている響きがある。

⑨ Great to see you. と ⑩ Good to see you. は「知人や友人」と「初対面の人」に対して使われる点, see が使われている点でよく似ている。この2つは相手と see (親しみを持って会う) ことを great (すごい) や good (いい) と評価する挨拶表現である。see を使っている点で ⑨ Great to see you. と ⑩ Good to see you. には以前からの知り合いに出会ったときに感じるような親しみがある。ただし, great を使っている点で ⑨ Great to see you. にはより感情的で強い響きがあり, good を使っている点で ⑩ Good to see you. にはより冷静で落ち着いた響きがある。

⑬ Nice talking to you. は「初対面の人」と「知人や友人」に対して使われる。これは相手と talk (個人的に話をした) ことを nice (いい感じ) だと評価する挨拶表現である。talk を使っている点で ⑬ Nice talking to you. には個人的に話をした後感じるような親しみがある一方で, nice を使っている点では相手と話をしたときの表面的な印象を軽く伝えている響きがある。

注 釈

- 1) 「口語英語研究 (1) 人名及び人名相当語句の使用に関して」(日本獣医生命科学大学研究報告 No 58), 及び「口語英語研究 (2) 人と出会ったときの挨拶表現に関して」(日本獣医生命科学大学研究報告 No 59) を参照。
- 2) You, too. と The same to you. は同義語である。You, too. には The same to you. よりもやわらかく軽い響きがある。口語では The same to you. よりも You, too. 多くが用いられる。
- 3) 現代英語社会では Christmas (クリスマス) から New Year (新年) まで休暇が続くことが多い。その

- ため、年末の別れの挨拶として Christmas (クリスマス) と New Year (新年) の休暇を holidays で表した Happy holidays. が使われることがある。これは特にアメリカ英語に多い。また、Happy holidays. は Christmas という語が用いられていないため、宗教的な響きがないと感じる人もいる (Christmas の原義は「Christ (キリスト) の Mass (ミサ)」)。
- 4) 来週まで会わないと思われる相手と別れるときに See you next week. (来週会いましょう) と言うことがある。相手と再会する時期 (あるいは相手と会わない期間) がはっきりと示されている点で、これは Merry Christmas and Happy New Year. (よいクリスマスと新年を迎えてください) に似ている。また、来週まで会わないと思われる相手と別れるときでも See you. (また会いましょう) と言うことがある。相手と会わない時期 (あるいは相手と会わない期間) がはっきりと示されていない点で、これは別れの挨拶として使われる Merry Christmas. に似ている。相手と再会する時期をはっきりと示さない See you. には See you next week. よりもあいまいでくれた響きがある。これと同じように、相手と再会する時期をはっきりと示さない Merry Christmas. には Merry Christmas and Happy New Year. よりも気軽でくれた響きがある。
- 5) Merry Christmas. の同義語に Happy Christmas. がある。Merry Christmas. と同じように、Happy Christmas. は年末から Christmas Eve (クリスマスイブ) の 12 月 24 日までは「よい Christmas (クリスマス) を迎えてください」という気持ちを込めて人と別れるときに使われ、Christmas Day (クリスマスの日) の 12 月 25 日には「Christmas (クリスマス) おめでとう」という気持ちを込めて人と会ったときに使われる。伝統的で正式な Merry Christmas. に比べて、Happy Christmas. にはより現代的でくれた響きがある。また、Happy Christmas. はイギリス英語で多く使われる。
- 6) Have a nice year. と Have a good year. は同義語である。good と nice の相違については本稿の第 3 章「(3) Nice to meet you. や Nice meeting you. などの性質」を参照。
- 7) Happy New Year. を A Happy New Year. と表すこともある。一般に、日常の会話では Happy New Year. が多く使われる。手紙を書くときなど書きことばとしては A Happy New Year. が使われることもある。
- 8) 旅立つ人に「よい旅行をしてください」という気持ちを込めて Have a nice trip. や Have a good trip. と言うことがある。また、翌週まで会わない人に「よい週末を迎えてください」という気持ちを込めて Have a nice weekend. や Have a good weekend. と言うことがある。このような “Have a nice ~” や “Have a good ~” は人と別れるときに使われる挨拶表現である。この挨拶表現の形態の一つとして Have a nice year. や Have a good year. を考えることも可能である。
- 9) Happy New Year. という挨拶表現は “Happy ~.”
- で「~おめでとう」という祝福や喜びを示す表現の一つと解釈することもできる。例えば、誕生日を迎えた人に「お誕生日おめでとう」という気持ちを込めて Happy Birthday. と言うことがある。また、Thanksgiving Day (感謝祭の日) を迎えたときに「感謝祭おめでとう」という気持ちを込めて Happy Thanksgiving. と言うことがある。Happy Birthday. は個人的な記念日を祝うことばであり、Happy Thanksgiving. は一般社会の祝日を祝うことばである。New Year (新年) という一般社会の祝日を祝うことばとして使われる点で、Happy New Year. は Happy Birthday. よりも Happy Thanksgiving. に似ているとも言える。
- 10) Nice to meet you. の類語に Pleased to meet you./Happy to meet you./Glad to meet you. がある。“to meet you” が用いられる点、初対面の人と会ったときに使われる点で、この 3 つは Nice to meet you. の同義語と言える。ただし、この 3 つには Nice to meet you. よりもかたい響きがあり、かたい順に並べると Pleased to meet you./Happy to meet you./Glad to meet you./Nice to meet you. になる。また、この 3 つには Nice to meet you. よりも強い喜びが表れている。これはこの 3 つで用いられている pleased/happy/glad に「うれしい」という主観的なニュアンスがあるためである。
- 11) Nice to see you again. の類語に Good to see you again./Great to see you again. がある。この 2 つの挨拶表現は “to see again” が用いられる点や面識のある人と再会したときに使われる点で Nice to see you again. と同じではあるが、この 2 つには Nice to see you again. よりもやわらかく感情的な響きがある。nice/great/good の違いについては「第 3 章 (3) “to~” を含む挨拶表現と “~ing” を含む挨拶表現の性質」を参照。
- 12) 本論における [現在性] とは発話される時点に重心を置く響きがあることを意味する。したがって、厳密に言うなら、この [現在性] は [発話される時点に重心を置く性質] とでも呼ばれるべきものである。しかし、本稿では表現を簡潔にするためにこれを [現在性] と呼ぶことにする。また、同じ理由から、発話よりも前の時点を振り返る響きがあることを [過去性] と呼ぶことにする。
- 13) [ref. 11] のイメージは ⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you. の “to~” が持つ [未来性] と ⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. の “~ing” が持つ [過去性] を示したものである。当然ながら、このイメージはあらゆる “to~” や “~ing” に当てはまるような普遍的なものではない。
- 14) 人と「会話を行う」あるいは「会ってしばらく個人的に話をする」という意味で talk to や talk with が使われることがある。この意味では、イギリス英語で talk to が多く使われ、アメリカ英語で talk with が多く使われる傾向がある。

参 考 文 献

- ・ 英文法シリーズ (1976), 研究社
- ・ 英語語法大辞典 (1966), 大修館
- ・ 新英文法辞典 (1970), 三省堂
- ・ 現代英文法辞典 (1992), 三省堂
- ・ Longman Dictionary of American English (1983), Pearson Education Limited
- ・ Collins Cobuild English Language Dictionary (1987), Collins Sons & Co Ltd
- ・ Oxford Advanced Learner's Dictionary (2000), Oxford University Press

Study of Colloquial English (3) :

The Usage of Expressions such as Merry Christmas./Happy New Year.
and Nice to Meet You./Nice Meeting You.

Mitsuru KIDO and Stuart J. SANDERSON

Division of the English Language, Nippon Veterinary and Life Science University

Abstract

This article discusses the usage of the following thirteen expressions : ① Merry Christmas and Happy New Year./② Happy holidays./③ Merry Christmas./④ Have a good New Year/⑤ Have a nice New Year./⑥ Happy New Year. ; ⑦ Nice to meet you./⑧ Nice to see you again./⑨ Great to see you./⑩ Good to see you./⑪ Nice meeting you./⑫ Nice seeing you again./⑬ Nice talking to you. Regarding expressions ① to ⑥, the article discusses on what dates and in what situations they are used, and how those dates and situations are related to the nuances contained in each of the expressions. Regarding expressions ⑦ to ⑬, the article discusses in what situations they are used and what relationships there are between those situations and the nuances of the forms “to~”/“~ing”, the adjectives “nice”/“great”/“good”, and the verbs “meet”/“see”/“talk”.

Key words : Merry Christmas. Happy New Year. Nice to meet you. Nice meeting you.

Bull. Nippon Vet. Life Sci. Univ., 60, 105-118, 2011.